



いんいん

発行者：すずらん保育所
発行日：令和7年4月1日
担当者：看護師 桑原

ご入園、ご進級おめでとうございます

子どもたちが新しい環境に慣れ、笑顔で元気に過ごせるよう
ご家庭ではゆったり過ごす時間を大切にしてくださいね。
私たちも、注意深く見守っていきたいと思います。

【園生活の安心安全のための大事なお願い】

《おやすみについて》

- 園をお休みする時は、朝 **9時**までに
連絡をお願いします（☎22-5177）
- 病気でお休みする時は、**受診結果や
お子さんの様子**をお知らせください。
- 病気によっては、**意見書や登園届**が
必要な場合もあります。

《緊急連絡先について》

緊急連絡先が変わった時やいつも
と違う時は、**連絡帳に記入するか
保育士にお知らせください。**

連絡先は必ず**連絡のとれる番号**で
お願いします。

生活リズムを身に つけよう

入園、進級などで新しい環境に入る春は、
生活リズムを見直すチャンスです。よい生
活リズムを身につけることが、健康に過ご
せる基本。ぜひ実践してみてください。

① 早寝早起きを意識して

眠りは日中の疲れをいやし、成長ホルモン
を分泌させて脳や体の発育を促します。お
子さんが夜遅くても9時までには寝て、朝は
7時までには起きるように促してみましょう。

② 朝ごはんを食べよう！

朝ごはんを食べないと、ぼーっとして、活力
がわいてきません。元気の源となる朝ごは
んは必ず食べましょう。

③ うんちは済んだかな？

朝ごはんを食べると、腸が刺激されて動き
出し、排便を促します。ごはんの後はうん
ちタイムをとり、トイレに座りましょう。

《お薬について》

園では原則 投薬はできません

医師の指示がある場合のみ、「**投薬依頼書**」
添付の上、お預かりします。

市販薬、解熱鎮痛剤、下痢止め、以前処方
された薬を保護者の判断で服用させること
はできません。

（**投薬依頼書に記入漏れがある場合や
投薬依頼書がない場合も投薬できません**）

※初回のみ「お薬の説明書」を提出して下さい

●おねがい●

診察の際には、医師に保育所へ通っていること
を伝え、保育所で服用しなくて良いよう回数
などの調整・相談をお願いします。

また、塗りぐすりなども、医師の指示以外は
自宅で塗ってくるようお願いします。



感染症 拡大防止 のための 約束事

No.2

その一、**発熱時は、解熱後 24 時間**
が経過してからの登園を！

その二、**症状が落ち着くまでは、**
なるべく家庭での保育を！

→熱だけでなく 風邪症状（激しい
鼻水、咳など）がある場合も
含みます

お迎えの連絡を入れる場合は、体温だけで
の判断ではなく、預かり中の子どもの言動
や表情、食欲、睡眠中の様子などを観察し、
総合的に判断してから連絡を入れます。

その三、**熱（37.5℃以上）がある時は**
保育所の利用はできません。

→預かり中に発熱（37.5℃以上）の
場合は、お迎えをお願いします

時折、お家に帰ってから熱が下がっている
場合がありますが、その時は無理をせず、お
家でゆったり過ごす等、お子さんの休息を
促して頂くような関わりをお願いします。

《予防接種について》

予防接種には さまざまなメリットがあります



こどもを守る

感染症への抵抗力がつき感染しにくくな
ります。また、かかったとしても軽くて済
み、合併症などを起こしにくくなります。

みんなを守る

抵抗力を持った人が増えると、人から人
へうつりにくくなる為、感染症
の流行が起こりにくくなります。

接種する人が増えることで、みんなが
かかりにくくなります。

接種出来ていない人を守る

接種する人が増えて、社会全体で感染症
の流行を防げるようになると、妊娠中の
人や、病気など健康上の理由で接種が
受けられない人を守ることができます。



保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を
共にする場となります。感染症の集団発
症や流行をできるだけ防ぐことで、一人
ひとりの子どもが、保育所での一日を快
適に過ごし、生活できるような環境作り
に努めております。ご協力をよろしく
お願いします。

お子さんの健康状態について
気になることや変化があれば
登園時に、直接保育士に伝える
ようお願いします。

ノートへの記載でも構いませんが
お声掛け頂くと、よりお子さんの
様子が把握しやすくなります。

